

2025-2-1
No.1109 500円

思想運動

女性たちの通信特集「わたしの選択」 2~3面
 辺野古・カヌー隊、新年はじめの行動から 4面
 韓国・労働社会科学研究所所長の主張 6~7面
 ガザ停戦 PFLP、KKEの見解 7面
 ディアス=カネルへのインタビュー③ 8~9面
 関生闘争勝利を！大阪府警本部元旦行動 10面
 P-グスマン監督の2作品をめぐって 11面



ブルハン・カルクトゥリ 〈パレスチナの子どもたち〉(1975) 12面の編集部発でカルクトゥリを紹介

国際婦人デー3・8東京集会に参加を

戦争をとめよう！貧困をなくそう！

生活に欠かせない食料品や電気などの異常な価格高騰が続いている。食品の値上げは1昨年15%、昨年17%で、今年はずいぶん17%の上昇が予測されている(帝國データバンク)。昨年の春闘では30年ぶりの賃上げ水準を勝ち取ったというが、たまたまの感覚や実体経済

あくまで大企業中心のうえ、とほかけ離れていて、すべて高に直結し労働者に恩恵はない。高に直結し労働者に恩恵はない。高に直結し労働者に恩恵はない。

資本主義の行き着く先は貧困の深化

資本主義はその体制を維持するために人民が貧しいままに暮らすことを欲する。雇われる

以外に生きていけない、低賃金で働く労働者が必要なのは貧困の深化だ。低賃金の地方の貧困が形成される。原発や公害企業、軍事基地を押しつけたためだ。そして自然災害が起これば打ち捨てられる。能登半島の復興について「過疎地の集約」が言われており、政府財源は住民の生活を元におりにすることは考えられない。日本経済に影響がない範囲内の復興でいいの

も最低限の生活を営むに足らない所得者からも税金を徴収するという仕組みは「女・子ども」は誰かに養われるものという前提なのだ。女性活躍という欺瞞の陰で、特に独身女性、高齢女性、シングルマザーが苦境に立たされている。女は扶養の範囲で働き子どもを産んで、無償の家事・育児・介護労働をしろというのが政府の大号令なの

大軍拡と戦時体制づくりを許すな

2022年12月、当時の岸田首相は5年間で43兆円の軍事費を投入する計画を含む安保関連3文書を閣議決定した。2025年度予算案での軍事費は過去最大の8兆7005億円に上った。2027年度にはGDP比2%の達成をめざしている。棚上げされてきた財源論議は、ようやく法人税とたばこの増税時期が来年4月というところで決着した。今後さらに所得増税などの負担増があることは避けられないだろう。軍事費は文教科関係費の2倍以上で大軍拡が

侵略と植民地支配の歴史に向き合う

日本は、日米韓の合同軍事演習や日米にNATO主要国を加えた合同軍事演習を頻繁に行なっている。近隣諸国を威嚇・圧迫しておきながら、中国や朝鮮が攻めてきたらどうする、そんな言説がまかり通っている。近代以降、繰り返して戦争を仕掛けアジア諸国を侵略し植民地支配してきたのは日本ではないか。今年には日本の敗戦、広島・長崎の被爆から80年だ。被団協のノーベル平和賞受賞は歓迎するが核の脅威は去るどころか増す

一方だ。日本は核兵器禁止条約に参加すらしていない。80年間、わたしたちはいつい何をしてきたのか。加害の歴史に向き合わず被害者意識のみで依拠する思想状況が今も

国際婦人デー3・8東京集会

3月8日(土) 13時半〜 東京・文京区民センター

集会の詳細は第3面の案内を参照

止した韓国人民

昨年12月3日、韓国の尹錫悦大統領が「非常戒厳」を宣言した。この事態に韓国政府の多くの人びと野党の国会議員らがたたき韓国国会前に集まって戒厳軍兵士たちと対峙した。多くの女性たちも立ち上がった。韓国人民には軍事独裁に対する民主化闘争を闘った経験がある。その力でクーデターは短時間で失敗に終わった。日本のメディアは事の性質に触れず日韓関係の悪化を危惧するばかりだが、正しい歴史認識に基づく戦争責任を弾劾する憲法裁判所はないが、韓国人のひびく主権を行使しよう。

格差と貧困の元凶資本主義に終止符を

戦争の歴史は資源争奪の歴史だ。スパイスや金に始まり石油・石炭、水資源など、今も紛争が絶えない。米国の覇権とする「西側先進国」の支持・支援のもとに行なわれて

いるウクライナ戦争、ガザ虐殺など、そのすべてに日本はすでに加担している。世界で人びとを殺している。ガザ地区では1年3か月以上に及ぶ戦闘で、これまでに4万7000人以上が殺された。その7割が女性と子どもだ。イスラエル軍の攻撃で破壊された建物の残骸の下に1万人以上が取り残されているのを見方もあり、犠牲者の数はさらに多いと思われる。ようやく停戦合意がなされたが、一刻も早く停戦を恒久的なものにしなければならぬ。世界経済を支配してきた帝国主義諸国の経済的地位がゆらぎ、現在世界は大きな転換期を迎えている。日米欧など西側諸国の利益と支配のための「国際秩序」を批判し公正・平等・平和を求めるグローバルサウスが力を増している。格差と貧困の元凶である資本主義社会を終わらせよう。

日本に暮らす人びとの圧倒的多数が、なにか社会がおかしい歴史認識に基づき戦争責任を問うていることに不安を感じている。この世の中に不服申し立てをしよう。自己責任を否定しよう。貧困なしにはなりたい社会を終わらせて完全なる平等を勝ちとろう。労働者が搾取されない豊かさや権力を手に入れば戦争は起こらない。わたしたちは、反戦平和・女性の地位確立をかかげて、3月8日に国際婦人デー集会を開催する。戦争と貧困の撲滅のためにともに声をあげよう。

【国際婦人デー3・8東京集会実行委員会】